

第22回定期地方委員会開催 春闘・統一地方選挙の方針承認

勝ち取るつもりでみなさんの希望への願い

4月12日投票の鹿児島県議会議員選挙に

鹿児島地方本部は、勝利なくして株式上場を訴えた。2015年2月28日（土）鹿児島市「タイセイアネックス別館」にて第22回定期地方委員会を開催した。議長に鹿児島地区連合分会の南一美委員を選出したのち、江口洋一地本執行委員長は挨拶で、「安全」、「2015春季生活闘争」、「組織の強化・拡大」、「統一地方選挙」の4点について触れ、取り分け「安全」についてヒヤリハットの取り扱いが本来の趣旨と乖離してきている点を指摘、また「2015春季生活闘争」については春闘

その後、来賓で4月の鹿児島県議会議員選挙に立候補予定の福司山宣介議員、遠嶋春日児県議より祝辞を受け、中央本部からの挨拶を受け、本部に対する組合員の思いが込められた檄布を手渡し、経過報告・活動方針（案）などについて5名の委員から発言があり、各担当部からの答弁の後、延時書記長による集約答弁が行われ、満場一致で経過・活動方針等が承認された。最後に江口洋一地本執行委員長の団結カンパローで終了した。

○ 求める。効率化施策への歯止めを。東九州自動車道の開通で現場は危機感を持っている。株式上場のメリツトは何か。組合員に説明するべきではないか。

○ 新玉名駅ホーム要員の見直しは、安全確保を

○ 株式上場により効率化が加速しないか。地域と連帯して地方路線の維持を。

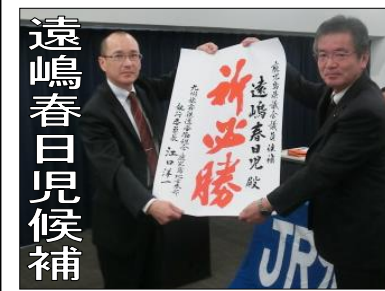
○ 剰余金の取り扱いが運動の停滞につながらないか。

立候補予定の、福司山宣介（ふくしやまのぶすけ）候補と遠嶋春日児（としまはるひこ）候補に江口執行委員長から書きが手渡されました。日頃より協力を頂いている推薦候補の必勝に向けた取り組みにご協力をお願いします。



【委員会発言骨子】

- 紹介者カード集約、総対話集会への参加を若手組合員中心に行った。
- 今春闘は昨年以上に組合員の期待が大きい。本部の奮闘を期待する。
- 株式上場企業に相応しい労働条件を



遠嶋春日児候補

福司山宣介候補